「こだわりの宿」30軒を紹介　特集

山形県・蔵王温泉

深山荘 高見屋

源泉掛け流しの湯を24時間

西暦110年ごろ、日本武尊の東征に従った吉備多賀由が発見したとされる蔵王温泉。1日の湧出量8700㌧という豊富な湯量と強酸性で知られ、「奥州三高湯」の1つとして長く親しまれてきた。共同浴場や宿泊施設が集まる温泉街の中で、最奥の高台に位置するのがタカミヤホテルグループのシンボル的存在である「深山荘高見屋」（岡崎彌平治社長）。蔵王温泉の中でも老舗として知られ、創業は享保元年（1716年）。歴史の重みと和モダンの内装が調和し、落ち着いた雰囲気を醸し出す。

温泉・浴場

同館の温泉の泉質は、「含硫化水素強酸性明ばん緑ばん泉」。慢性皮膚病など幅広い傷病に効くとされるほか、肌を白くなめらかにする効果もあると言われている。

特に同館の9つの風呂は自家源泉から引いた温泉を掛け流しにしており、湯量豊富な蔵王の湯を新鮮なまま、24時間楽しめる。

本館1階の「長寿の湯」は、露天の桶風呂も備えた内湯。創業以来の昔ながらの木造の風呂は、湯治場としての風情を感じさせるもの。露天風呂客室などを備えたスイート棟「離庵山水」にある「せせらぎの湯」も、石づくりの露天風呂や露天桶風呂、ひのき湯など風情豊かで貸し切り風呂の、王温泉内の5施設の風呂を、湯めぐり気分で無料で楽しめるのも、温泉好きにはたまらない。

同館の歴史の深さを知るには、「明治天皇行在所（あんざいしょ）」など県内外の伝統ある家屋や土蔵5棟を、蔵王の地に移築、復元した施設「童（わらべ）の里」もおすすめ。天皇家からの賜り物や江戸時代の藩主らが使った湯治具など、同館に代々伝わる品を展示しており、歴史、文化面での興味も満たしてくれる。

「蔵王は信仰の山であり、温泉を含め、豊かな自然など癒しのスポットも多い」と女将の岡崎純子さん。温泉と共に蔵王のさまざまな魅力を再発見するのもおもしろそう。

▽深山荘高見屋は山形県山形市蔵王温泉54。☎023・694・9333。http://www.zao.co.jp/main.html

離庵山水の「石湯」

離庵山水の客室

山形県・かみのやま温泉

月岡ホテル

安全でおいしい有機野菜

「体にいい食べ物をお客さまに出したい」。その女将の想いから、5年前に約2千坪の専属有機農園を米沢に保有。そこで育てた有機栽培の野菜を食材として用いるのは、山形県・かみのやま温泉の月岡ホテル（堺愛子社長）だ。

料理・食事

有機農園の野菜は、トマトやナス、キュウリ、オクラ、キャベツ、大根など年間を通じて60数種類。調理スタッフや女将が中心となって草刈、収穫などの作業をする。

朝食ブッフェのサラダなどで活用。形はふぞろいでいびつだが、「おいしい」「野菜のにおいがする」などと好評だ。秋には、収穫された里芋を使った山形名物の「芋煮」も献立に加わる。

若女将の堺美奈子さんは「畑仕事はとてもたいへんだが、安心、安全な野菜を提供するためにがんばって続ける」と話す。

▽月岡ホテルは山形県上山市新湯1―33。☎023・672・1212。http://www.tsukioka.co.jp/

収穫を喜ぶ女将（前列左）、若女将（後列）ら

栃木県・日光温泉

日光千姫物語

月替わりの懐石料理で魅了

栃木県日光温泉の日光千姫物語（根本芳彦社長）は、月ごとに献立が替わる懐石料理が評判だ。四季折々の食材に和洋の料理人が腕をふるう。料理へのこだわりに加え、浴場や客室に趣向をこらし旅行者を癒す。今年3月にはミストサウナをはじめ4つの新たな風呂をオープンさせた。

料理・食事

夕食として提供する月替わり懐石「千姫御膳」は、和食の粋とフレンチの華やかさが楽しめる。名産の湯波、中禅寺湖産のヒメマスをはじめ地元の食材、各地の旬の食材を選りすぐっている。

さらなる贅を求める宿泊客には、千姫御膳をグレードアップさせた「厳選懐石膳」を勧めている。また、質はそのままに量を加減した「控え目懐石膳」も用意できる。

また、予約を受けてからその都度メニューを考案する「フレンチコース」もある。朝食にも心を尽くし、チェックイン時に和食と洋食を選べるようになっている。

客室（44室）は、日光の山々や渓谷を臨む。スタンダードな和室のほか、和洋特別室1、特別室2、露天風呂付和室3など。温泉は肌にやさしい単純アルカリ泉で、大浴場とウッドデッキテラスが付いた露天風呂が男女それぞれにある。

大浴場や露天風呂に加えて新設した風呂は、女性用のテルマーレミストサウナ、シルキー風呂、ジェットバス。男性用は従来の高温サウナに加えてミストサウナを設置。女性用のテルマーレミストサウナは、微細な水の粒が肌や髪にうるおいを与え、快適な温度で体を芯から温める。シルキー風呂は、細やかな泡が毛穴に入り込み、肌をスベスベにする。

「訪れる旅人に『夢のような美しい物語』の一頁を」というのが宿の願い。宿のもてなしと、日光の自然、歴史の魅力が物語をつむぎ出す。

▽日光千姫物語は栃木県日光市安川町6―48。☎0288・54・1010。http://www.senhime.co.jp/

月替わり懐石の厳選懐石膳

ウッドデッキテラスが付いた露天風呂

新潟県・月岡温泉

ホテル清風苑

美人の湯を心ゆくまで

新潟県月岡温泉の「ホテル清風苑」（樋口恵一社長）は、「美人になれる温泉」で知られる月岡の湯を心ゆくまで堪能できる宿だ。温泉は今年で開湯97年。ホテルは開業83年と、温泉地の歴史とともに歩んできた。男女2カ所ずつ、合計4カ所の大浴場と、3つのテレビ付き貸し切り風呂があり、浴槽の数は合わせて15個。多彩な6つの湯船がそろう露天風呂は嵯峨人形風のマスコット「6つ子のお湯かけ小僧」が置かれ、愛敬ある姿で湯浴み客を迎えている。また女性に人気で心身ともにリフレッシュできる。

温泉・浴場

人や環境への配慮にも取り組む宿で、部屋には国産無垢材の自然素材を使用。煙草が苦手な人向けに禁煙ルーム16室を備えている。若く元気な客室係が多く、夕食の部屋出しなど、大型旅館でありながらきめ細やかなサービスを心掛けている。

ロビーでは毎晩9時から、スタッフによる踊りなど、夜のにぎわいを演出している。

▽ホテル清風苑は新潟県新発田市月岡温泉278―2。☎0254・32・2000。http://www.seifuen.com/

殿の湯大岩露天風呂

栃木県・鬼怒川温泉

あさや

4種類の貸切風呂もオープン

栃木県鬼怒川温泉のあさや（八木澤哲男社長）は、豊富な湯量を誇る自家源泉を持ち、抜群の展望を備えた屋上階の露天風呂をはじめ、多種多様な浴場が魅力だ。温泉は全客室（192室）にも引かれている。今年1月には4つの貸切風呂がオープンし、プライベートな空間でゆったりと湯を楽しみたい旅行者に人気を博している。

温泉・浴場

鬼怒川の川底から湧く自家源泉は「子宝の湯」と呼ばれ、古くから疾病に対する効能の高さが知られてきた。泉質はアルカリ性単純温泉で肌触りの良さが特徴。肌が滑らかになると評判になっている。

館は開放的な吹き抜けのロビーが印象的な「秀峰館」と、温泉旅館の情緒が漂う数寄屋造りの「八番館」で構成されている。

秀峰館の屋上、川面から80㍍という鬼怒川で最も高い所に位置するのが空中庭園露天風呂「昇龍の湯」。四季折々の山や渓谷、夜ならば星空が見渡せる。総檜造りの船の形をした浴槽のほか、岩風呂、桶風呂などがあり、男女入れ替え制で計5つの風呂を楽しむことができる。

このほか秀峰館には男女それぞれの大浴場と、細かなバブルが体を包み込む半露天ジャグジー風呂がある。一方の八番館には、浴場の壁面に鬼の絵が描かれた大浴場「武夫鬼湯」と「麗鬼湯」がある。

人気の貸切風呂は、その名を「福満宝尽くし吉祥『打ち出の小槌の湯』」という。「福を授かり、振れば願いごとが叶う打ち出の小槌」をテーマに4種の浴場がある。各浴場には異なるタイプの浴槽を設置している。「宝珠」は黒御影石の浴槽、「宝鍵」は岩、「丁子」は檜、「隠笠」は赤御影石。料金は50分で4千円。日帰り客も利用できるが、別途日帰り入浴料金がかかる。

▽あさやは栃木県日光市鬼怒川温泉滝813。☎0288・77・1111。http://www.asaya-hotel.co.jp/

展望抜群の空中庭園露天風呂

今年1月にオープンした貸切風呂

山梨県・石和温泉

華やぎの章 慶山

ステーキと旬彩懐石

料理に定評のある華やぎの章慶山（千須和昌和社長）。2009年9月にステーキ懐石を提供する「牛鉄板焼処『千』」（カウンター12席）、10年3月に旬彩懐石の「客前割烹『昌』」（同8席）が相次いでオープン、真新しい施設での食事に宿泊客の評判は上々だ。

料理・食事

完全予約制。18～19時半と20～21時半の2部制を採っているため、ゆったりと落ち着いた雰囲気で料理を味わえる。

千ではシェフが目の前でもてなす甲州牛・甲州ワインビーフの鉄板焼きフルコースが、昌では板前が見事な腕前で魚を捌き、新鮮な刺身と熱々の天ぷらが楽しめる。

このほか、みのぶゆばをふんだんに使った「湯葉懐石」や野菜を中心に素材の効能を生かした慶山オリジナルの「薬膳料理」なども ぜひ味わってほしい。

▽華やぎの章慶山は山梨県笛吹市石和町市部822。☎055・262・2161。http://www.keizan.com/

牛鉄板焼処「千」での食事風景

群馬県・万座温泉

日進館

標高1800㍍、万病に効く長寿の湯

標高1800㍍に湧出する「星とお友達になれる名泉」。日進館（旧・万座温泉ホテル、大野克美社長）のキャッチフレーズだ。

上信越高原国立公園に位置する万座温泉は、16万㌔㍑という豊富な湯量を誇り、27種類の湯質は万病に効くといわれる。「昔から、万座に行けば体がよくなるという信仰があり、全国から多くのお客さまが訪れている。長寿の温泉郷として有名」と同館の大野社長。「糖尿病が治る奇跡の温泉・万座」とのテーマでテレビ番組も放映され、話題になった。

温泉・浴場

8種類の天然温泉風呂を用意している。館内にいながらにして湯巡りが楽しめると評判だ。

木の趣ある6つの浴槽がある。「姥湯」は皮膚病、リウマチ、神経痛、外傷の後遺症などに効くといわれる。「さゝ湯」はこれに笹の葉を入れたもので、笹の持つ血液浄化作用、細胞活性化作用が期待できる。

「姥苦湯」は万座最古の温泉の王様といわれる湯。難病を治した人も数多く、福田元首相も、この湯のファンだったとか。

展望露天風呂「極楽の湯」は万座で最も景色のよい温泉といわれる。朝早く起きて日の出を見ながら入れば気分は爽快。神経性ストレスの解消に効果を発揮しそうだ。

同館の健康志向は料理にも。夕食は2008年12月からバイキングとなり、長生きの元といわれる食材（豆、ゴマ、わかめ、野菜、魚、シイタケ、芋）を多用。それぞれの頭文字を取った「まごわやさしいコーナー」もあり、たいへん好評だ。

館内では毎夜8時から、プロの歌手による歌とトークのショーを開催。出演する泉堅（いずみ・けん）さんは同ホテルのオーナーでもある。

天然温泉と抜群の自然環境、健康志向の料理、楽しい歌とトークショーで、旅人の寿命も10年は伸びるかも。

2008年1月には新館「湯房」がオープン。設備がさらに充実した。

▽日進館は群馬県吾妻郡嬬恋村万座温泉。☎0279・97・3131。http://www.manza.co.jp/

極楽の湯

大浴場長寿の湯

岐阜県・長良川温泉

十八楼

「俳聖」芭蕉ゆかりの宿

鵜飼で有名な長良川のほとりに建つ「十八楼」（伊藤善男社長）は、創業万延元年（1860）、150年の歴史を持つ老舗旅館だ。鵜飼見学や、昔ながらの街並みが残る「川原町」の散策、良質の温泉を目当てに来る観光客で年中にぎわっている。

歴史文化

前身は天保時代（1830年代）創業の船宿「山本屋」。俳聖松尾芭蕉がこの地を訪れた際、地元の油商で俳人仲間の賀嶋善右衛門（鴎歩）の水楼（別邸）を「中国の瀟湘八景と西湖十境を合わせたほどの風情が込められている」と称え、「十八楼」と命名。屋号はその名にあやかり付けたもので、芭蕉が書いた「十八楼の記」が現在も宿のロビーに展示されている。

館内には長良川の絶景を望む風雅な造りの「お湯処『川の音』」、モダンな展望風呂「お湯処『川の瀬』」があり、ぜいたくな湯浴みを楽しめる。清流長良川の伏流水と飛騨牛、地場の野菜を使ったこだわりの料理も楽しみたい。鵜飼観覧とセットの食事プランもある。

▽十八楼は岐阜県岐阜市湊町10番地。☎058・265・1551。http://www.18rou.com/

お湯処「川の音」